

令和2年度

読谷村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

令和4年3月31日現在

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
8	緊急生活支援給付金事業	①生活困窮者への経済的支援 ②③社協で実施する緊急小口資金（貸付）制度を活用した者に貸付額の20%（上限4万円）を給付（600名 24,000千円）事務費（通信運搬費119千円） ④村民	25,530,000	25,530,000	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急かつ一時的な生計維持のため、国の実施する、「緊急小口資金特例貸付」を受けた世帯に対し、読谷村より臨時的な経済支援として、金銭給付を行った。</li> <li>支給対象者の支給する給付金の額は緊急小口資金特定貸付額の20%とした。</li> <li>支給対象者の要件、支給額、支給方法等の概要については広報により周知し、読谷村社会福祉協議会の協力を得て申請の案内を行った。</li> </ul>	緊急生活支援給付金実績 給付総数 649件 内訳 40,000円 625件 30,000円 5件 20,000円 19件
10	認可外保育施設保育料等支援事業	①登園自粛期間中の保育料・給食費相当額の保護者への支援金 ②③15施設 対象児童約410名 保育料・給食費日割り計算（14,308千円） ④-	7,202,510	7,202,510	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として本村からの家庭保育の協力依頼により、認可外保育施設の利用を自粛した保護者又は当該保護者へ保育料等の減額若しくは免除を行った認可外保育施設に対し、自粛日数分の保育料及び給食費相当額を給付。</li> </ul>	保護者及び認可外保育施設の経済的負担を軽減することができた。 保護者給付人数 3月～5月 221人（村内 12施設 153人、村外 4施設 68人） 8月 107人（村内 12施設 148人、村外 3施設 59人）
14	子育て応援一時給付金事業	①子育て世帯への経済的支援 ②③児童手当対象児童1人につき1万円を給付（7,676名 76,760千円）事務費（口座振替手数料、印刷製本費、通信運搬費2,226千円） ④-	79,785,080	79,785,080	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯に対する措置として、令和2年4月分の児童手当対象児童1人につき10,000円、特例給付対象児童1人につき20,000円を支給した。</li> <li>支給世帯数 4,075世帯 支給児童数 7,678人 給付金額 78,440,000円</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた児童手当・特例給付受給世帯へ給付金を支給することにより経済的支援を図ることができた。
15	ひとり親世帯応援一時給付金事業	①ひとり親世帯への経済的支援 ②③児童扶養手当対象児童1人につき2万円を給付（1,050名 21,000千円）事務費（口座振替手数料、印刷製本費、通信運搬費、ソフトウェア開発費942千円） ④-	21,654,170	21,654,170	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親世帯に対する措置として、基準日（令和2年5月1日）において児童扶養手当または母子及び父子家庭等医療費助成受給資格認定を受けているひとり親世帯等の児童1人につき20,000円を支給した。</li> <li>支給世帯数 628世帯 支給児童数 1,050人 給付金額 21,000,000円</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた児童扶養手当または母子及び父子家庭等医療費助成受給資格認定者へ給付金を支給することにより経済的支援を図ることができた。
16	村内在住高校2・3年生世代応援一時給付金事業	①高校2年、3年生世代をもつ世帯への経済的支援 ②③高校2年、3年生1人につき2万円を給付（964名 19,280千円）事務費（印刷製本費、通信運搬費395千円） ④-	19,280,000	19,280,000	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校等の2年生及び3年生の保護者を支援するため、緊急的な支援として一人20,000円の一時金を支給する。対象者964人×20,000円＝19,280,000円</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた村内在住の高等学校等の2年生及び3年生の世帯へ給付金を支給することにより経済的支援を行った。
17	コタンザ頑張る事業者応援事業	①事業者への経済的支援 ②③コロナ関連資金の対象制度の融資決定事業者へ融資額の1.0%相当額を給付 4,400,000千円×1.0%×0.8（申請8割見込み）＝35,200千円 ④-	28,684,000	28,684,000	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた村内の事業所の事業継続を応援するため、新型コロナウイルス関連融資を受けた事業所に対し、支援金を交付した。</li> </ul>	村内で事業所を営んでいるもの（法人・個人事業者）に対し支援金を交付することで事業継続支援が図られた。 申請交付件数：299件 交付総額：28,684千円
21	よみたん飲食店テイクアウト・デリバリー応援事業	①飲食店への事業継続支援 ②③村内飲食店でテイクアウトやデリバリーを実施している1事業者につき5万円を給付（126件 6,300千円） ④食事提供事業者	8,650,000	8,650,000	R2.6.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症により経済的影響を受けた村内飲食店が適切な感染症対策を講じながらテイクアウト・デリバリーを行うための臨時的な支援措置として支援金を交付した。</li> </ul>	交付件数：173件 交付額：8,650千円 新型コロナウイルスが長期化する中、テイクアウトやデリバリーなどの「新しい生活様式」に適応した事業形態への転換及び感染症拡大防止が図られた。

令和2年度

読谷村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

令和4年3月31日現在

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
23	季節性インフルエンザ予防接種費支援事業	①症状が類似する季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症との識別において医療機関の混乱による医療崩壊を未然に防ぐ。 ②インフルエンザ予防接種費用の全額助成 ③（1歳～12歳）5,750人×5,247円×2回×40%＝24,137千円 （13歳～64歳）26,343人×5,247円×1回×40%＝55,289千円 （65歳以上）8,937人×5,247円×1回×40%＝18,760千円 ④村民	50,410,968	50,410,968	R2.10.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの症状が似ていることから、冬場の同時流行による医療提供体制のひっ迫を防止すると同時にインフルエンザの重症化防止の観点から、1歳以上の村民に対し、季節性インフルエンザにかかる費用の公費助成を実施した。</li> <li>1歳～64歳 延べ8,846人、65歳以上 5,766人</li> </ul>	全国的なインフルエンザワクチンの供給不足も重なり、全体の対象者に対する接種率は35.6%であったが、65歳以上の高齢者は64.5%の実施となり、季節性インフルエンザの流行及びまん延を防ぐことができた。
25	感染症予防衛生資材の安定確保・供給推進事業	①今後の社会機能維持のため、緊急時に備えた衛生資材の安定確保と供給体制を構築する。 ②備蓄用の衛生資材の購入及び顔認証非接触型検温器のリース ③マスク（一般用100,000枚、N95 2,300枚）手袋54,000枚、ガウン51,000枚、ゴーグル1,000個 消毒液 3,800個 備用費16,136千円 役務費（送料）200千円 顔認証非接触型検温器6個×15,400円×7月＝647千円 ④特定の疾患を持つ方・高齢者・公共施設	14,953,066	14,953,066	R2.8.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策におけるハイリスク者並びに村内医療福祉保育施設への衛生資材の配布を実施するとともに、さらなる感染拡大に備えるため衛生資材を備蓄した。</li> </ul>	村内ハイリスク者988人、医療機関26か所、高齢者福祉施設22か所、高齢者福祉事業所51か所、障がい者施設3か所、障がい者事業所22か所、保育施設43か所へ衛生資材を配布し、各施設事業所での感染症拡大防止に資することができた。
27	「新しい生活様式」対応支援事業（経済対策）	①村内における消費喚起キャンペーンを実施するとともに、観光業・飲食業関係事業所で電子決済システムや地域通貨システムを活用し、接触機会の低減と誘客促進を図る。 ②③消費喚起キャンペーン事業費100,020千円（キャッシュレス還元・地域通貨等ポイント還元3,000円×16,670(世帯数概算)×2回) 委託費5,000千円（システム導入費2,412千円、消耗品費330千円、印刷製本費450千円、口座振替手数料150千円、通信運搬費272千円、広告宣伝費1,386千円） ④村民	100,000,000	100,000,000	R2.9.1	R4.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において、村内事業所への衛生資材導入費用を補助することで感染対策の充実を図るとともに、感染症対策推進の店として認証することで、感染症に強い事業所づくりに寄与した。</li> <li>プレミアム付電子商品券「よみベイ」を販売し、村内における消費喚起を行うことで、経済活性化を図る。また、感染症対策推進宣言の店での利用に還元ポイントを付与することで、感染対策に取り組み事業所へのインセンティブとなり、経済活動と感染症対策とが運動した取り組みとなった。</li> </ul>	「よみベイ」加盟店舗229店舗 感染症対策推進宣言の店195店舗（感染症対策資材導入認証店舗） プレミアム付電子商品券「よみベイ」販売実績 購入者数9,429人 販売総数2億5千万円／20%プレミアム分5千万円
28	「新しい生活様式」対応支援事業（感染症対策）	①村内事業者へ感染症対策強化のための支援を行い、対策を行った事業所を認証することで、認証事業所での接触機会の低減等の「新しい生活様式」への対応や「持続可能な経済活動」を推進する。 ②③感染症対策資材の費用補助（7割補助） 大規模事業所 741,400円×15ヶ所×0.7＝7,785千円 中規模事業所 343,200円×44ヶ所×0.7＝10,571千円 小規模事業所 213,600円×241ヶ所×0.7＝36,035千円 タクシー 27,500円×30台×0.7＝578千円 バス 55,000円×20台×0.7＝770千円 委託費5,000千円（人件費2,065千円、消耗品費350千円、印刷製本費950千円、口座振替手数料165千円、通信運搬費120千円、会議室使用料150千円、広告宣伝費1,200千円） ④村内事業者	51,000,000	51,000,000	R2.8.1	R4.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において、村内事業者への衛生資材導入費用を補助することで感染対策の充実を図るとともに、感染症対策推進の店として認証することで、感染症に強い事業所づくりに寄与した。</li> <li>プレミアム付電子商品券「よみベイ」を販売し、村内における消費喚起を行うことで、経済活性化を図る。また、感染症対策推進宣言の店での利用に還元ポイントを付与することで、感染対策に取り組み事業所へのインセンティブとなり、経済活動と感染症対策とが運動した取り組みとなった。</li> </ul>	「よみベイ」加盟店舗229店舗 感染症対策推進宣言の店195店舗（感染症対策資材導入認証店舗） プレミアム付電子商品券「よみベイ」販売実績 購入者数9,429人 販売総数2億5千万円／20%プレミアム分5千万円

令和2年度

読谷村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

令和4年3月31日現在

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
29	農業支援事業	①農業用水料金の一部を補助し農業者の経営継続を支援する。 ②作物別に農業用水料金単価が設定されており、申請面積に応じ補助（7割補助） ③農家戸数435名 料金単価：キビ8円、菊24円、野菜20円等 ④村内農業者	22,014,000	22,014,000	R2.9.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を克服するため、農業生産に必要な農業用水の使用料の一部補助を行った。（交付要件）</li> <li>村内在住者で長浜川土地改良区における農業用水利用者に対し、農業用水使用料の7/10を補助する。</li> </ul>	農業用水使用量の一部補助を行うことで、農業経営の継続化を図れた。 農業用水利用者：435名、農地面積：196ha
30	よみたん大好き「めんそーれ」事業	①村内事業所の事業継続を支援するため、村が特産品を買い上げる。買い上げた特産品を、本村と交流のあるキャンプチーム・教育民泊学校・教育交流団体等へ読谷村PRビデオレーターと共に贈り、村のPRにつなげ再来村（誘致・誘客）への足掛かりにする。 ②③特産品15,000円程度×360団体＝5,400千円 送料1,200千円 消耗品180千円 印刷費200千円 ④村内事業所	5,363,426	5,363,426	R2.8.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた村内事業所から村特産品を買い上げ、事業継続支援を実施した。</li> <li>特産品は読谷村の関係団体（スポーツキャンプ実施チーム、修学旅行等民泊利用校、村交流関係団体等）に誘客メッセージや観光動画とともに贈り、誘致・誘客に取り組んだ。</li> </ul>	村内事業所7社より特産品を買い上げ、事業者支援に繋がった。 スポーツキャンプチーム・学校より多くの反響があり、読谷村のPR・再来村への足掛かりとなった。 事業実施後、8つのチームがスポーツキャンプで来村した。
31	「感動体験でよみたん元気プロジェクト」推進事業	①感染症拡大により個々の活動が制限されている中、「新しい生活様式」を学びながら、読谷村の豊かな自然環境に触れる機会を創出することで、日々のストレスを解消し毎日を元気に過ごすきっかけづくりをする。 ②観光体験・食事・お土産費用を補助 ③費用9,000円（7,000円補助 2,000円自己負担） 7,000円×1,142名＝7,994千円 ④村民	7933500	7933500	R2.9.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍において様々な活動が制限されている村内の児童生徒の心身のストレスの解消と、経済活動の制限下での村内観光事業所への経済対策について、感染症対策を取ったうえで取組を実施した。</li> <li>また、村民の方が地元の観光事業所の魅力を再発見する機会となるよう各事業所連携の上でプログラムの充実を図った。</li> </ul>	令和2年10月～11月に9つのプログラムを実施した。 ①残波ビーチマリン体験205人 ②ジンベエザメシュノーケリング176人 ③青の洞窟シュノーケリング69人 ④シュノーケリング&カヤック体験32人 ⑤ガラス体験（ガラス工房海風）271人 ⑥ガラス体験（ガラス工房雫）150人 ⑦ガラス体験（源河源吉ガラス工房）90人 ⑧ヤチムン体験（ていだ工房）127人 ⑨ヤチムン体験（陶真窯）61人 延べ1,118人の村民の方がプログラムに参加し、観光事業所の感染拡大防止ガイドラインに沿った対策を徹底したことで、安全安心な体験活動を楽しむ機会となった。
32	小中学校GIGAスクール構築事業	①緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障するため1人1台学習用タブレットを整備する。 ②児童用タブレット3人に1台のうち未整備分 45,870円×1,462台（4,388人×1/3）＝67,062千円 教師用タブレット45,870円×228台＝10,459千円 タッチペン6,600円×4,616本＝30,466千円 画像転送装置19,030円×192個＝3,654千円 充電保管庫242,000円×21教室＝5,082千円 ④村立小中学校児童生徒・教師	116,722,280	116,722,280	R2.9.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内ネットワークの整備と児童生徒の一人一台タブレット端末整備を行った。</li> </ul>	整備計画に基づき小学校のICT機器を整備することで「わかりやすい授業の実施、子どもたちの情報活用能力の育成」のための教育環境の整備ができた。
34	学校保健特別対策事業費補助金	（感染症対策のためのマスク等購入支援事業） ①村立小中学校における感染拡大防止に必要なマスク等を購入する。 ②③児童生徒数4,388名×340円（単価上限額）＝1,491,920円×1/2＝746千円 ④村立小中学校	1,491,000	746,000	R2.4.1	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>村立幼稚園、小学校、中学校へ感染症対策のための衛生資材を購入し、配布を行った。</li> <li>マスク、アルコール消毒液、消毒用使い捨て手袋、非接触型体温計20本、体表温度計測サーマルカメラの設置7台</li> </ul>	衛生資材を購入し、各学校へ配布することにより、感染症対策を行いながらの学校運営を行うことができた。
35	学校保健特別対策事業費補助金	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①村立小中学校における感染拡大防止に必要な消耗品及び備品等を購入する。 ②③補助対象経費2,000千円×7校×1/2＝7,000千円 ④村立小中学校	14,000,000	7,000,000	R2.4.1	R3.3.31		衛生資材を購入し、各学校へ配布することにより、感染症対策を行いながらの学校運営を行うことができた。

令和2年度

読谷村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

令和4年3月31日現在

No	交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費(円)		事業開始 年月 日	事業完了 年月 日	実施状況 (実績概要)	成果等
				うち交付金 充当経費(円)				
36	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①1人1台学習用タブレットの整備に係るスクールサポーターを配置する。 ②③660千円×4ヶ月(12月～3月)×2名=5,280千円 ④村立小中学校	5,280,000	2,640,000	R2.12.1	R3.3.31	●GIGAスクールサポーターを配置した。 4ヶ月×2名	GIGAスクールサポーターを配置することで「わかりやすい授業の実施、子どもたちの情報活用能力の育成」のための教育環境の整備ができた。
37	疾病予防対策事業費等補助金	(読谷村一定の高齢者等へのPCR検査実施事業) ①通所サービス利用の高齢者のうち、希望する方へPCR検査の費用を助成する。 ②③70名(想定)×20千円=1,400千円 ④通所事業所を利用する村民	2,119,000	700,000	R2.11.1	R3.3.31	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大や重症化を防止する観点から、65歳以上の高齢者のうち、ウイルスの持ち込まれるリスクのある高齢者通所施設(デイサービス)を利用する者に対し、PCR検査を実施した。 対象者：村民のうち、通所施設(デイサービス)を利用する者で、検査を希望するもの。 要件：村内に住所を有する者のうち、65歳以上高齢者 検査機関：民間検査機関(株式会社BML)	通所施設利用者889名、利用施設(村外含む)67施設へ案内を行った。 検査申請者 227名(全体の25.5%)、17施設(全体の25.3%) 実際に検査日に検体を提出できたものは、197名であった。 感染者が増えている中での検査であったため、検査を実施することで利用者本人のみならず、施設運営の面でも安心感が得られた。